

合田邸通信 vol.14

令和8年6月16日

昨年度から合田邸は本町デーや北前船のイベントで公開する機会が増えてきました。そのなかで店棟横の正門の門扉を保全しました。合田邸の入り口付近がきれいになっていく中で、門扉横の店棟の壁の漆喰が剥がれていることが周辺の景観上非常にいびつになっており、これ以上の壁材の剥落を防ぐために漆喰壁の保全工事を4月から5月末まで実施しました。

今回の保全は剥がれた漆喰を貼りなおすのではなく、漆喰下地の土壁部分のがこれ以上の剥落するのを抑えるために、通常とは異なる現状を保護しながら見た目の復元という手法を用いました。漆喰の特徴状部分的な剥落にその部分だけ塗布して修復しても塗布の境目から徐々に剥落が進行します。その際に漆喰下面の土壁を巻き込んで損傷する可能性があるため、今回は現状の土壁を保護する意味合いも含めて、一旦透湿シートで覆い、合板設置後に同系色塗料を塗る手法を行い保全を完了させました。現状では真新しい壁の色になっていますが、ある程度風雨に晒されれば色味も馴染んできて、合田邸の雰囲気を作り上げることになると思います。

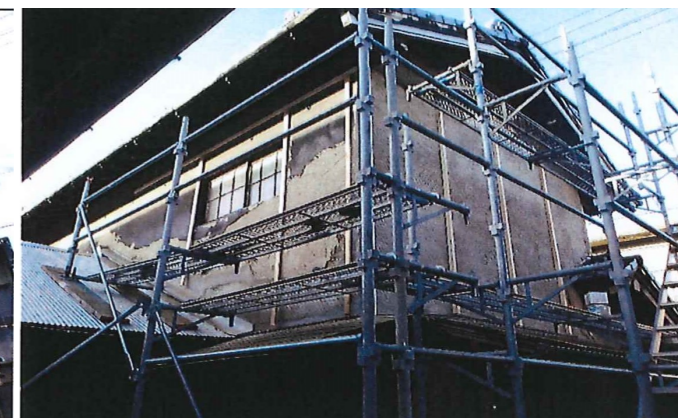
今後合田邸は本町デーや各種イベントで公開されることがありますので、店棟の壁の保全状況を確認しに来てください。



多度津町HP：合田邸関連ページ



漆喰が剥落した工事前の状況



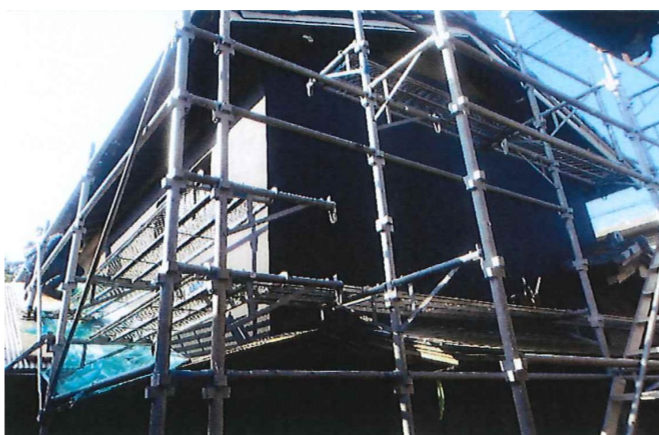
足場設置



透湿シート設置



合板設置



塗料塗布



完了